

イズハハコ

Conyza japonica (Thunb.) Less.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 県内では各地に生育地がみられ、個体数もかなり多い。崖地に生育するため、崖の自然崩壊や道路拡幅による影響が懸念される。

県内分布 日田低地・丘陵地、別府湾沿岸域、大分川・大野川丘陵地、豊後水道域、豊後水道後背地域、大野川上流域、北川上流域

分布域 本州(関東地方西部以西)、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)、沖縄
台湾、中国、インド、マレーシア

生育環境 低地や丘陵地の乾いた崖。

現 状 生育地は比較的多くみられ、生育環境の安定している所が多い。

イヨアブラギク

Dendranthema indicum (L.) Moul.
var. *iyoense* (Kitamura) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は狭く、県内での生育地は希で、生育範囲も狭い。道路に露出している岩場などに多くみられ、草刈や道路工事などによる絶滅の危険性が高い。

県内分布 国東地区、別府湾沿岸域、石灰岩地域

分布域 四国(愛媛)、九州(大分)

生育環境 低地や丘陵地の岩場や林縁。

現 状 生育地は点在し、生育範囲は狭く、個体数も少ない。

備 考 九州、四国の特産種。本県の生育地は、豊後水道を挟んで分布の西限域となっている。

アシズリノジギク

Dendranthema occidentali-japonense
(Nakai) Kitamura
var. *ashizuriense* Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 ノジギクの変種で分布域は狭い。県内の分布は「豊後水道域」の海岸を主とし、生育範囲は比較的広く、個体数も多い。道路工事、埋立工事などの影響で、生育地の減少が懸念される。

県内分布 姫島・国東海岸、豊後水道域

分布域 四国、九州(大分)

生育環境 海岸の草原や路傍、崖地。

現 状 「豊後水道域」では生育範囲は広く、個体数も多い。栽培菊との交雑もみられる。

備 考 本県は、分布の西限域にあたる。国定公園指定植物〔日豊海岸〕